

No. 10 戸川稔朗 議員		
(一)健康スポーツ都市について	① 会津学鳳高校跡地東体育館の暫定利用	○ 県より無償譲渡を受けてからこれまでの経過を示せ
		○ なぎなた連盟など体育館を利用したい団体に現段階で利用できない理由を市民目線で示せ
		○ 武徳殿や鶴ヶ城周辺体育施設での武道の練習を観光客が自由に見学できるのは武士の郷として有効だと思うが考えを示せ
	② 第2次会津若松市スポーツ振興基本計画について	○ 「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」スポーツ活動に取り組むことができる環境づくりについて示せ
		○ 総合型地域スポーツクラブ設立が進まない理由を示せ
		○ 種目団体との連携により選手育成と競技力向上にどのように努めたかを示せ
		○ スポーツ施設の充実とはどのようなことを意味しているのか示せ
		○ 学校体育施設の一般開放について考えを示せ
		○ 小中学校グラウンドの子供たちへの開放と監視員の任命についての考えを示せ
(二)姉妹都市・友好都市・親善交流都市について	① 姉妹都市・友好都市・親善交流都市事業	○ 姉妹都市・友好都市・親善交流都市締結の目的を示せ
		○ 募参り事業との市民批判がある中、これまで実施された交流事業について示し、その評価を示せ
		○ 姉妹都市・友好都市・親善交流都市がお互いに常設のアンテナショップ等を設置すべきと思うが考えを示せ
(三)行政の無策に対する市民行動について	① 市民が行ったアンケート調査・停留所の整備	○ これまで公衆トイレの整備についての要望を質問し、観光客からトイレ設置の要望はないとの答弁があったが、その後、市民や観光客へのアンケート調査等は行ったか示せ
		○ 観光周遊バス停留所整備に対する考えを示せ

No. 11 荒井義隆 議員		
(一)会津観光の振興と芸者育成について	① 会津観光の振興と誘客宣伝	○ 観光事業が一部業種や一部地域のものだけでなく、市全体の発展につながることを系統立てて示せ
		○ 会津は観光の宝庫であり、歴史、文化、産業、教育など素材に事欠かない。それぞれの部局が素材を整理し、系統立てて観光会津を宣伝すべきと考えるが見解を示せ
		○ 白虎隊の飯盛山での自刃のような会津の悲劇を正しく伝えるためにも、会津の精神文化の紹介に力を注ぐべきと思うが見解を示せ

	② 外国からの誘客	○ 今後、外国からの観光客の増加なしには、将来性はないと思われる。外国からの観光客の受け入れ体制は、どのくらい進んでいるのか。また、宣伝活動を今後どのように進めるのか考えを示せ
	③ 芸者文化	○ 伝統的日本文化の一つである芸者は激減し、やがて姿を消すことが心配される。守るべきものは守っていくべきと考えるが、市長の見解を示せ
		○ 芸者育成のための支援が必要と考えるが見解を示せ

No. 1 2 目黒 章三郎 議員

(一)神指城跡の保存と地域振興について	① 都市計画道路と新橋りょう予定路線	○ 神指城跡の史跡としての価値をどのように評価しているのか示せ。
		○ その対象となるのは二ノ丸を囲む堀までと考えているのか。そしてその面積は何平方メートルとなるのか示せ。
		○ 神指城跡本丸と二ノ丸土塁を分断する現行計画の変更について考え方を示せ。
		○ 地元住民への説明は、今後どのように進めていくのか示せ。
		○ 新橋りょう予定路線のコース設定について、市は県とどのように協議しているのか示せ
	② 周辺地域の振興策	○ 西部幹線の変更に伴う、周辺住民の危ぐ、また困惑する要因は何と考えるか示せ。
		○ この要因を取り除く方策について、どのようにかかわるのか示せ。
		○ 史跡を活用した地域活性化策を講じるため、市内プロジェクトを立ち上げるべきと考えるが見解を示せ。
		○ 史跡保存とその活用を図るため、土地を買い上げる手段としてナショナルトラスト運動のような方法があるが、考えを示せ。
(二)政策決定の透明化と説明責任について	① 予算案決定手順	○ 予算編成について当局は、市民や議会に説明責任を果たすため早くから情報提供をし、その考え方を明らかにする必要があると考える。総合計画や行政評価、決算審査に基づく予算への反映の考え方など、随時明らかにしていくことが求められる。3月定例会に当初予算案を提出し、そこで初めて一から審査していく従来のやり方を改める考えはないか示せ。

No. 1 3 近藤信行 議員

(一)温暖化対策について	① 林業の活性化とカーボン・オフセット	○ 平成20年度の温室効果ガス排出状況の実績値でマイナス6.8%の削減率になっているが、主な要因は何か。また目標は達成できるのか見解を示せ
		○ 今年度、地球温暖化対策推進実行計画の見直しになっているが、2020年までの国の目標である25%削減に対し、本市としては国との整合性のとれる目標が出せるのか見解を示せ

		○ 林業経営の安定化を図るために、年齢構成のバランスがとれた長期的な計画を策定すべきと考えるが見解を示せ
		○ 木材生産に伴う副産物からも収入を得ることが必要であり、もっと積極的な取り組みをすべきと考えるが見解を示せ
		○ 木材の生産コストの前提となる路網の整備を図るべきと考えるが、その取り組み方針を示せ
		○ 低コスト化を図るための林業機械等の設置状況を見ると、いまだに高性能機械が導入されていない現状にあるが、今後の取り組み方針を示せ
		○ 集約化を図るためにも高性能林業機械を使いこなせる人材や森林の特性に合わせた最適な路網設計のできる人材など、森林管理の人材を養成すべきと考えるが見解を示せ
		○ 林業の活性化を図るためにもオフセット・クレジット制度を活用すべきであると考えているが、どのような取り組みをするのか方針を示せ

No. 1 4 清川雅史 議員		
(一)市民ボランティア活動振興について	① 地域防災、災害復旧等ボランティア活動の振興	○ 本市では、平成21年度より、被災地における災害復旧または復興を支援する活動に従業者が協力または従事し、その貢献が特に顕著な事業所を表彰する災害に対するボランティア活動の表彰制度を導入しているが、民間事業所への地域防災、災害復旧等ボランティア休暇制度導入の拡充が必要と考えるがその見解を示せ
	② 消防団員活動環境改善について	○ 中心市街地及び周辺の消防団の団員数は、定数に至っていない状況にあり、第1分団から第5分団までの充足率は、平均84%となっている。これは、消防団員の被雇用者率の増加によるものと思えるが、この現状をどのように分析しているかその見解を示せ
		○ 消防団員の新たな確保及び被雇用者の消防団員が継続して活動しやすくするためには、活動環境を整えることが必要である。消防団員を雇用している事業所に対して、新たな方策として、表彰制度以外にボランティア休暇による経費の貸付、利子の補てんなどの優遇措置が必要と考えるがその見解を示せ
(二)保健予防健康増進について	① 健康診査、特定健康診査	○ 健康診査、特定健康診査では、血液検査が行われ、肝機能・腎機能・脂質・血糖・ヘモグロビン等の値が調べられているが、血液検査で早期に前立腺がんを発見するのに有効とされている前立腺特異抗原(PSA)検査を導入してはどうかその見解を示せ
	② 子宮頸がんワクチン	○ 子宮頸がんは、他のがんと異なり、その原因が解明されており、予防に有効なワクチンが開発されているが、3回の接種で約5万円と高額である。公費による費用負担軽減を行い接種率を上げることにより、多くの命が救われることにつながると考えるが見解を示せ

	③ 将来的な医療費の抑制	○ PSA検査による前立腺がんの早期発見、予防ワクチン接種による子宮頸がんの予防は、公費による費用負担を行うことで、一時的に多額な財政支出となるが、将来的には、確実に医療費の抑制につながると考えるが見解を示せ
--	--------------	--

No. 15 横山 淳 議員

(一)子供たちの体験を通じた人づくり・地域づくりについて	① 子供の育成の視点	○ 地域における人間関係が希薄であることや家庭におけるしつけが十分身についていない子供が多いことが、学校教育にどのような影響を及ぼしているか見解を示せ。
		○ 幼少体験の量・質は、子供の理解力と相関関係にある。多様な体験は教科指導においてどのような効果をもたらすか認識を示せ。
		○ 体験活動のうち、特に自然体験については、準備、企画されたイベントへの参加と違い、問題・課題・計画・実行が全て自己活動であり、大人としての資質を形成する基礎となり得る。しかし、子供だけで自然体験できる環境が、極端に少ない。この現状について市長部局に対し自然体験可能な場所の創出を求めるべきと考えるが見解を示せ。
		○ 幼少時代にさまざまなイベントに参加することは、物事に関する興味関心を引き出し自己の将来像を探る大きな契機となる。今後、市のかかわるイベントに関して子供の参加・かかわりをもっと強めていく考えはないか示せ。
	② 大人のかかわりと地域づくり	○ 教育は学校だけではできない。地域の大人が規範を示すなど協力が必要である。そのためには、市長部局の事業一つ一つに、子供の育成・地域力という視点を取り入れなければならないと考えるが見解を示せ。
		○ 子供に大人のありのままの姿をみせることが、大人への憧れ・物事への興味関心を高め、地域を愛する心をはぐくむ。さまざまなイベントにおいて、子供と大人が共有する場をもっとつくらなければならないと考えるが見解を示せ。
	③ 地域づくりのための支援組織づくり	○ それぞれの学区ごとに、子供と大人の共同参加プロジェクトをつくり、実行に向けた組織をつくる。まず初めにモデルをつくってはどうか見解を示せ。
(二)職員の政策形成能力向上について	① 職員の意欲向上	○ 職員の専門的知識・技能などの能力アップが、企画書の提出につながり、施策として採用される。このことが職員の意欲向上に結びつく。適切な処遇を講じなければならないと考えるが、検討していることをがあれば示せ。
		○ 職員のスキルアップのために、担当している仕事のほかに、各職員が一つずつ年間を通して地域活動にかかわることが有効だと考えるが見解を示せ。

	② 職員による子供たちの育成支援	○ 子供たちのさまざまな地域活動、放課後活動等、子供の育成支援に職員がかかわることは、職員の使命感を向上させる。この力が日常の政策形成、施策実行の意欲へとつながると考えるが、そういう体制づくりを検討してはどうか見解を示せ。
--	------------------	---

No. 16 石村善一 議員

(一) 大戸地区の活性化について	① 活性化策	○ 大戸地区の活性化について、基本的な考えを示せ
		○ 活性化には、すでに完成している基幹農道やサイクリングロードを生かした施策が必要と思うが考えを示せ
		○ 上三寄地区の基幹農道沿線には、地元農林産物の直売機能やサイクリングロードの休憩所としての機能を有する場の整備が有効と考えるが見解を示せ
		○ 香塩地区農村公園付近は、森林や阿賀川などの美しい自然に恵まれた景勝地にあることから、森林内への遊歩道等の整備は、市民の憩いの場として有効と思うが考えを示せ
		○ 芦ノ牧温泉駅の高い知名度や地区のB級グルメ等を地域の活性化に生かすべきと思うが考えを示せ
	② 基幹農道の管理	○ 上三寄地区にかかる基幹農道の管理については、香塩地区農村公園の活用や事故が多発している上三寄地区国道沿線住民の交通負担軽減を図る上から、年間を通した供用が必要と思うが考えを示せ
(二) 市有財産の有効活用と適正管理について	① 有効活用と処分	○ (仮称)コパンⅡ建設予定地の市有地は平成3年に平方メートル当たり約13,000円で購入している。今回30年間の貸付と聞いているが基本的には売却が妥当でないのか、貸付の理由を示せ
		○ 当該予定地には、河東地区との幹線道路の整備計画があるが、貸付に当たり、道路用地をどのように取り扱うのか考えを示せ
		○ 自動販売機設置業者の選定と使用料の基準は、現在どのようになっているのか。また、今後は県でも実施している一般競争入札を導入して適正使用料による歳入増や公平性の確保を図るべきと思うが考えを示せ
		○ 生涯学習総合センター内の自動販売機設置はどのように考えているのか。また、設置予定であれば一般競争入札で行うべきと思うが考えを示せ
		○ 金融・郵便機能が不在の松長団地には、コミセン内にATM等を設置するなど、住民の利便性を高める必要があると思うが考えを示せ
	② 適正管理	○ 松長団地の長大法面については、法面からの火災が住宅に延焼する恐れが高いことから、法面除草等の適正な管理が求められているが考えを示せ

(三)旧松長団地案内所の払い下げ経緯と今後について	① 経緯と今後	○ 旧松長団地案内所の土地・建物については、平成20年に旧福島県住宅供給公社から地元自治会に無償譲渡されている。一方、蓬萊団地では中心施設の土地・建物が平成21年1月に福島市に無償譲渡されているが、松長団地については市に協議は無かったのか。また、旧公社からの譲渡先の対象は松長団地全体であり、かつ、現在の管理主体である松長区長会も市への寄附も検討していると聞いている。そこで今後、そのような寄附等を受ける考えはないか見解を示せ
---------------------------	---------	---

No. 17 佐野和枝 議員

(一)児童の福祉について	① 少子化対策と子育て支援	○ 第6次長期総合計画の計画的な少子化対策の推進で、目標達成のための方針が示されているが、市はどのように実行され効果はどのように上がっているのか認識を示せ
		○ 子育てしやすい環境整備は長期的な視点に立った子育て支援が求められる。市は、今後どのように少子化対策を推進しようとしているのか考えを示せ
		○ 子育て支援には共働き世帯が安心して働けることが重要であり、その安心を支えるには、地域の中に子供を安心して預けられる環境の整備が求められている。小学3年生まではこどもクラブの利用が可能だが、小学4年生からは、市内4カ所ある児童館の自由来館制度の利用となるが、場所的に遠く利用が難しい面も出てくることから、子供の安全のため地域内の高齢者のボランティアや地域組織などの協力をいただき、地域内での子育て支援ができる環境整備を図るべきと考えるが見解を示せ
		○ あいづわかまつこどもプランの中で、ファミリー・サポート・センターの利用者や、子育て支援施設でのニーズ調査を行っているが、それに対して市は、どのように対応していくのか考えを示せ
	② 産み育てやすい環境づくり	○ 財政が厳しい中であっても、子供を産み育てやすい環境の整備は必要である。本市独自の子育て支援を行うべきと考えるが見解を示せ
		○ 寝たきり高齢者等紙おむつ等給付事業があるが、この事業をゼロ歳児から2歳児までを対象とした給付事業とし、子育て支援にも用いてはどうか見解を示せ
(二)会津若松市高齢者福祉計画・第4期介護保険事業計画について	① 高齢者の就労支援と生きがいづくり	○ 高齢者であっても、元気な高齢者の方も多くなる。高齢者が今まで培ってきた豊かな知識や経験、能力を地域に生かす仕組みが必要であると考えが見解を示せ。さらに、平成20年度実施の一般高齢者の実態アンケート結果によると就労状況が前回よりも高まっている状況であり、より一層の就労支援が求められているが、市として具体的にどのように支援する考えか見解を示せ
	② 要介護にならないための日常的行動と外出の促進	○ 高齢者の傾向として、外に出て行う活動が減少してくるとされている。高齢者が元気に暮らしていくためには、さまざまな活動への参加が重要だと考える。そのための活動支援をすべきと思うが見解を示せ

		○ 外出時の足として、路線バス、コミュニティバス等があるが、高齢者のニーズに合った時間や路線になっていないのではないかと。利用しやすい時間や路線、料金等について今後、関係機関と連携を図りながら検討を進め、外出を促進することが必要と考えるが見解を示せ
--	--	--

No. 18 大竹俊哉 議員		
(一)猪苗代湖の環境保全について	① 水質の向上に対する取り組みと保全	○ 平成21年度水質調査の結果をどう評価しているのか見解を示せ
		○ 猪苗代湖の水質を汚染している要因をどのようにとらえ、対策を講じてきたのか。また、今後の取り組みを示せ
		○ 滝沢浄水場で浄水する際の薬量は、平成10年当時と比較してどのように変化しているのか。また原因は、猪苗代湖の水質変化とどのように関係しているのか見解を示せ
	② 水上レジャースポーツの安全に対する取り組み	○ 毎年のように死亡事故が発生しているが、対策はどのように講じているのか。また、今後の事故防止対策の方針を示せ
		○ 猪苗代湖は2市1町が利用し、県も大きく関与している。関係機関の協議をどのように行っているのか。今後、市はどのようにかかわっていくのか方針を示せ
		○ 水上レジャースポーツの規制を各自治体単体で行うのではなく、包括的に取りまとめ、運用していくべきと考えるが見解を示せ
(二) 税収減少による財政への影響について	① 公債費負担適正化計画に対する影響	○ 平成22年度予算における市税収入は、公債費負担適正化計画にどのように影響を及ぼすと考えているのか見解を示せ
		○ 平成27年度までの計画が実行できるのか認識を示せ
	② 徴税率の向上に関する取り組みと徴税方法	○ 市税、国民健康保険税それぞれの徴税率向上に対する取り組みと考え方を示せ
		○ 市税、国民健康保険税それぞれの徴税率向上に対する取り組みと考え方を示せ
		○ それらの取り組みへの市民からの評価に対する認識を示せ
		○ それらの取り組みへの市民からの評価に対する認識を示せ
		○ 銀行口座を凍結(取り引き停止)する際は、本人とどのように連絡しているのか。そのことに問題点はないのか認識を示せ
		○ 銀行口座を凍結(取り引き停止)する際は、本人とどのように連絡しているのか。そのことに問題点はないのか認識を示せ
	③ 自主財源確立に向けた取り組み	○ ふるさと納税(寄附)の推移と取り組み、あわせて今後の方針を示せ
		○ 広告収入事業の推移と取り組み、あわせて今後の方針を示せ
		○ 今後、自主財源として期待できるものは何か見解を示せ

	④ 普通財産の売却と有効活用	○ 普通財産を積極的に売却すべきと考えるが見解を示せ
		○ 法定外公共物(赤道、青道)をどのように売却を進めていくのか方針を示せ
	⑤ ゼロベースでの各種補助金と負担金の見直し	○ 各種補助金と負担金を決定するまでのプロセスに問題点はないのか認識を示せ
		○ 各種補助金と負担金を一たんすべて廃止し、ゼロベースから検討していくべきと考えるが見解を示せ
(三)行政機構のあり方について	① 観光誘客に対する庁内横断的取り組み	○ 観光政策の問題点に対する認識を示せ
		○ 農業、商業、工業とどのように連携してきたのか。また、今後の具体的な事業方針を示せ
		○ 今後の観光誘客施策は、全庁横断的に取り組むべきと考えるが見解を示せ
	② 少子化対策に対する庁内横断的取り組み	○ 少子化対策の問題点に対する認識を示せ
		○ 国の横断的取り組みに対する評価を示せ
		○ 今後の少子化対策は、庁内横断的に取り組むべきと考えるが見解を示せ
	③ 企業立地・誘致に対する庁内横断的取り組み	○ 担当部局は、関係部局とどのように連携を図っているのか、課題解決に向けての方針を示せ
		○ 経済情勢を考慮しない場合、現状の体制で企業の立地・誘致が十分可能と考えるのか認識を示せ
		○ 今後の企業立地・誘致施策は、庁内横断的に取り組むべきと考えるが見解を示せ